

## 二次避難を想定した避難訓練の事例

幼稚園 4・5 歳児 (2 年保育)

### I 避難訓練の年間指導計画

#### 1 年間を通して幼児に身に付けさせたい力

- (1) 刻々と変化する状況に応じ、個人で適切な判断ができる力
- (2) 様々な身のこなしができる力
- (3) 集団として落ち付いて行動できる力

#### 2 年間計画

回	ねらい	避難訓練の内容	防災教材や教科との関連
1	つて安全に避難することができるようになる。教師の指示に従	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室集合時、地震発生による訓練</li> <li>・引き渡し訓練 (配信メール使用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発達に応じた避難時の行動の仕方の絵表示 (4 歳児：避難行動仕方を絵に示す・5 歳児：クイズ形式の絵表示を使って自分たちで考えられるようにする。)</li> <li>○「地震だんごむし体操」</li> <li>○津波や河川氾濫時に園舎近くではどれくらい水があふれるか示した絵を表示する。</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室集合時、火災を想定した訓練</li> <li>・保護者が幼稚園にいる時を想定し、保護者にも避難の仕方を通知</li> <li>・保護者参加の消火訓練</li> </ul>	
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生による二次災害 (河川氾濫) を想定した訓練</li> <li>・二次避難場所である隣接する中学校の 4 階まで中学生に援助してもらいながら避難する訓練</li> </ul>	
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が様々な場所で好きな遊びをしている時の地震発生を想定した避難訓練</li> </ul>	
5	様々な場面での避難の仕方が分かり、落ち着いて安全に避難することができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールにいるときの地震発生を想定した避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ものが落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を幼児と一緒に考えてつけるハートマーク</li> <li>○プール時に上履きをまとめて持ち運べる容器</li> <li>○東日本大震災の写真を活用した話</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・更衣のときに地震発生を想定した訓練</li> </ul>	
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊び時における、緊急地震速報を使用した訓練</li> <li>・近隣の中学校との合同避難訓練</li> </ul>	
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参観時、火災を想定した訓練</li> <li>・放送機器使用不可を想定した伝達訓練</li> </ul>	
9	教職員が近くにいなくても、自分で考えて安全な場所に避難することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職不在時に地震後の火災を想定した訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の混乱の中で、教職員誰もが分かりやすく迅速に行動できるよう、災害の種類によって色分けした放送原稿、二次避難先の掲示などの作成</li> <li>○東日本大震災の写真を活用した話</li> </ul>
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が様々な場所で好きな遊びをしている時における地震発生を想定した避難訓練</li> <li>・二次避難場所での引き渡し訓練</li> </ul>	
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震後の火災を想定した訓練</li> </ul>	

## II 避難訓練の実際（公開避難訓練）

### 1 年間計画の位置付け、想定場面

#### 第7回避難訓練



「好きな遊びをしているときに大きな地震が起きたら、どうする？」  
「地震後、中学校への二次避難を想定した訓練に取り組もう」

### 2 ねらい

- ・教師が近くにいなくても、自分で安全な場所を考えて、落ち着いて行動することができる。
- ・「おかしも」の約束を守って素早く二次避難場所まで避難することができる。
- ・避難所の役割を知り、近隣の中学校に避難する安全性について理解することができる。

### 3 訓練の実際

<b>【想定】</b>
① 震度5強の地震
② 建物崩壊のおそれあり
③ 幼児が様々な場所で遊んでいるとき
④ 二次避難場所へ避難

	時間の推移	幼児の活動	指導上の留意点
事前指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震の時にはどのように自分の身を守ったらいいか学級で自分の考えを出し合う。</li> <li>○「地震だんごむし体操」を行い、身を守るための動きをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発達段階に応じて、絵表示を使い、地震発生時の行動の仕方を考えたり、確認したりする。</li> <li>◎前回の避難訓練の事後指導を思い出せるように、声を掛ける。</li> </ul>
避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急地震速報の鳴動</li> <li>○大地震発生</li> <li>○園内放送による避難指示</li> <li>○建物崩壊の場所発見</li> <li>○二次避難場所へ避難指示</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ものが「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所で身を守る姿勢（だんごむしのポーズ）をとる。</li> <li>○地震がおさまるまで避難行動を継続する。</li> <li>○放送を聞く。</li> <li>○防災頭巾をかぶり、近くの教職員の指示に従い、園庭の安全な場所に避難する。</li> <li>○副園長の話聞き、建物崩壊の恐れがあるため、二次避難場所に避難することを覚える。</li> <li>○二次避難場所である近隣の中学校の校庭中央まで避難する。</li> <li>○備蓄倉庫を見学し、地域の避難所が分かり、避難所の役割や備えについて知る。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎幼児が自分なりに考えて身を守る姿勢をとったり、素早く動いていたりする姿を認め、見守る。</li> <li>◎判断に迷っている幼児には「ダンゴムシのポーズ」等と身の守り方について具体的に指示を出す。</li> <li>◎ガラスに見立てたペットボトルのキャップをまいたり、物を倒したり物を倒したりして、臨場感をもたせる。</li> <li>◎園内の安全確認を行うとともに、ブレーカーを落とし二次災害を防止する。</li> <li>◎教職員間で連携を密にとり、速やかに二次避難場所へ避難する。</li> <li>◎列から遅れがちな幼児には、「ついて行こう」と励ましながらか、みんなと一緒に行動できるようにする。</li> <li>◎備蓄倉庫の物を見せ、避難所の役割や災害時には地域の方々を力合わせる大切さを伝える。</li> </ul> 
事後指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>○園長の話聞く。</li> <li>○各学級で教師の話聞いたり、考えを友達に伝えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎どのようなことに気を付けながら身を守る行動をとったかなどを話し合い、好きな遊びをしている時の避難の仕方を学級で共通に理解させる。</li> </ul>

### 幼児の避難時の行動の変容

教師が近くにいなくても、自分なりに考えて落ち着いて身を守る姿が見られるようになってきた。また、二次避難場所への避難をする際に、「おかしも」の約束を守って速やかに避難することができるようになった。